

伊豆赤十字病院看護師奨学金貸与規程

(目的)

第1条 この規程は、伊豆赤十字病院長（以下「院長」という。）が看護大学及び看護専門学校に在学し、看護師、保健師、助産師（以下「看護師等」という。）の資格取得を目指す看護学生の修学に必要な資金の一部を奨学金として貸与し、優秀な看護学生の修学を支援することを目的とする。

(貸付対象)

第2条 本奨学金は、看護大学及び看護専門学校に入学した学生の内、奨学金の貸与を希望する者で、かつ卒業後、当院に就業する意思がある者を貸付対象とする。

(奨学金貸与者の人数)

第3条 奨学金貸与者（以下「奨学生」という。）は、原則として毎年2名以内とする。

(奨学金貸与期間)

第4条 奨学金の貸与期間は、正規の最短修学期間とする。ただし、休学、留年等がある場合、その期間中は奨学金を貸与しない。

(奨学金の貸与額等)

第5条 奨学金は月額7万円を上限とし、4月及び10月にそれぞれ6ヶ月分ずつ貸与するものとする。

(貸与申請)

第6条 奨学生になろうとする者は、貸与申請書（様式1）1部、返済計画書（様式2）1部、伊豆赤十字病院奨学生願書1部を院長に提出して、奨学金の貸与申請をするものとする。但し、返済計画書に定める返済期間は、原則として卒業後4年以内とする。

- 2 貸与申請に際しては、連帯保証人2人を立てなければならない。
- 3 連帯保証人は、本規程及び貸与申請書並びに返済計画書に基づき奨学生が負う一切の金銭債務を連帯保証する。
- 4 第2項の連帯保証人は、独立の生計を営む身元確実な者とし、その一人は本人の親権者、父母またはこれに代わる者とする。

(奨学金貸与の決定)

第7条 院長は、前条の申請に基づき、審査の上奨学生、貸与金額を決定し、決定後は奨学金貸与決定を通知する。

(口座の指定等)

第8条 奨学金の支給が決定された奨学生は、奨学金の振込みのための本人名義の銀行口座を指定し、様式3により院長に届け出るものとする。

2 奨学生は、奨学金が指定の口座に振込まれたときは、その都度、速やかに様式4による受領書を院長あて提出するものとする。

なお、当該受領書が提出されないときは、次期の奨学金が送金されないことがある。

(奨学金の返済)

第9条 奨学生は、返済計画書に基づき、貸与した奨学金を全額返済しなければならない。但し、院長は、奨学生に特別な事情がある場合は、返済期限を延長することができる。

2 返済計画の実行を期するため、具体的な返済の額及び方法等については、返済の義務が生じたときから速やかに、院長と奨学生が相互確認するものとする。

3 奨学生が、次の各号の一に該当するときは、院長は貸与を打切り又は停止するものとし、奨学生は既に貸与した奨学金を、返済計画書に基づき、全額返済しなければならない。但し、院長と奨学生が別途協議の上、合意したときは、返済計画書と異なる返済の時期及び方法を定めることができる。

(1) 自己の都合により奨学生を辞退したとき。

(2) 自己の都合又は病気等により退学したとき。

(3) 学則の定めにより退学を命ぜられたとき。

(4) 学業途中において、奨学生として適性を欠き、又は就学成績が著しく不良等で奨学生としてふさわしくないと認められたとき。

4 奨学生が、就学中に死亡した場合、院長は奨学金貸与を打切る。この場合は、既に貸与した奨学金の返済については、返済計画書に基づき、連帯保証人が返済する。但しこの場合、院長と連帯保証人が別途協議の上、合意したときは、返済計画書と異なる返済の時期及び方法を定めることができる。

(利子)

第10条 奨学金の貸与に対し、利子は課さない。ただし、定められた返済が遅滞したときは、延滞利息を課すものとする。

2 延滞利率については、別に定める。

(返済の免除)

第11条 奨学生が卒業後、別に定める条件に該当した場合は、院長は奨学金の一部又は全額の返済を免除することができる。

(その他)

第12条 この規程に定めるもののほか、奨学金の貸与について必要な事項は別に定める。

(付則)

この規程は、平成14年4月1日から施行する。

平成19年8月1日一部改正

伊豆赤十字病院看護師奨学金貸与規程細則

伊豆赤十字病院奨学金貸与規程に基づき、次の通り必要事項について細則を定める。

(対象者の就労希望の確認)

第1 院長は、労働基準法に定める就労者の就労先の選択権利を尊重する必要があることから、卒業見込時において、奨学生に対し本院への就労希望の有無を確認する。

(延滞利息の利率)

第2 規程第10条第2項に定める、延滞利息については、民法第404条第2項の法定利率で計算した額とする。

(奨学金の返済免除の要件と免除額)

第3 規程第11条に定める、卒業後における返済免除は、「卒業後直ちに(又は、1年以内に)看護師、助産師、保健師の資格を取得し、本院に一定期間以上就業した場合に適用する」こととし、その要件と免除額は次の通りとする。

- (1) 正規の最短修学期間就業した場合は貸与総額の全額
- (2) 3年以上4年未満就業した場合は、貸与総額の4分の3額
- (3) 2年以上3年未満就業した場合は、貸与総額の4分の2額(又は3分の2額)
- (4) 1年以上2年未満就業した場合は、貸与総額の4分の1額(又は3分の1額)
- (5) 上記の定めにかかわらず、休職等就業できない状況に至った場合は、その状況が真に止むを得ない事情と認められかつ継続就業の意思がある場合は、院長と奨学生が真摯に協議し、返済額及び返済方法を決定することとする。

2 前項の適用を受ける場合は、対象者は就業が決定した後、別紙様式5の奨学金返済免除申請書を院長に提出する。院長は、同申請を審査し、返済免除の可否を対象者に通知する。

平成 22 年 2 月 1 日 一部改正
平成 25 年 4 月 1 日 一部改正
令和 4 年 3 月 1 日 一部改定
令和 6 年 4 月 1 日 一部改正

令和 年 月 日現在

伊豆赤十字病院 奨学生願書

写真
無帽、上半身

3ヶ月以内撮影
3.5×4.5cm

伊豆赤十字病院
院長 吉田 剛 様

申込者氏名

㊞

私は、貴伊豆赤十字病院奨学生試験の受験を希望しますので、必要書類を添えて
申し込みます。

申 込 者	ふりがな 氏 名	男 女
	生年月日	昭和 平成 年 月 日 (満 才)
	ふりがな 住 所	〒 TEL
	*書類送付先住所	〒 E-mail: TEL
学 歴	修 業 期 間	学校・学部・学科名(高校から・留学歴等も入れる)
	年 月 ~ 年 月	
	年 月 ~ 年 月	
	年 月 ~ 年 月	
	年 月 ~ 年 月	
職 歴	職 務 期 間	勤 務 先 名 等
	年 月 ~ 年 月	
	年 月 ~ 年 月	
	年 月 ~ 年 月	

志 望 理 由			
免 許 検 定 等	取 得 年 月 日		
	年 月 日		
	年 月 日		
	年 月 日		
(得意学科・得意な科目)			
(趣 味)			
(所属クラブ・同好会)			
(ボランティア歴の内容)			
(健康状況)			
(既 往 症)			
(性 格)			
受験希望日 *希望がある場合はご記入ください。相談の上決定します。	令和 年 月 日	令和 年 月 日	

(No.) 令和 年 月 日受付

奨学金貸与申請書

伊豆赤十字病院
院 長 様

私は、この度、(学校名) _____ に入学を許可されました。

つきましては、伊豆赤十字病院奨学金貸与規程の各条項を了解し、貴院から奨学金貸与を受けたいので、同規程第 6 条により保証人連名の上、別紙返済計画書を添え、次の通り申請します。

申請者氏名 (ふりがな) _____ ⑩

申請者生年月日 _____ 年 月 日 (_____ 歳)

申請者住所 _____

電話 (自宅・携帯) _____

貸与希望月額 _____ 円

連帯保証人 住所 _____

氏名 (ふりがな) _____ ⑩

申請者との続柄 _____

電話 (自宅・携帯) _____

住所 _____

氏名 (ふりがな) _____ ⑩

申請者との続柄 _____

電話 (自宅・携帯) _____

奨学金振込口座届

伊豆赤十字病院
院 長 様

奨学生氏名 _____ ⑩

奨学生住所 _____

電話（自宅・携帯） _____

伊豆赤十字病院長から私に対する奨学金の振込み先については、次の通りですので届け出ます。

奨学金振込口座	
ふりがな 金融機関名	銀行 信用金庫 信用組合
ふりがな 支店名	本店 支店 出張所
店番号	□ □ □
口座番号	□ □ □ □ □ □ □
口座名義	

- ※ 1 口座名義は、奨学生本人名義に限ること
2 届け出の際は、通帳の表紙コピーを添付すること

様式 4

受 領 書

伊豆赤十字病院
院 長 様

金 _____ 円也

上記金額を受領いたしました

但し、

令和 年 月 ~ 令和 年 月

令和 年 月 日

奨学生氏名

_____ ㊞

奨学生住所

電話(自宅・携帯)

奨学金返済免除申請書

伊豆赤十字病院
院 長 様

私は、このたび貴院において職員として採用されることが決定（又は内定）されました。

つきましては、伊豆赤十字病院奨学金貸与規程第11条及び同規程細則第3の第1項を了解しましたので、同規程細則第3の第2項に基づき、次の通りこれまで貸与された奨学金について返済の免除を申請します。

申請者氏名（ふりがな） _____ ①

申請者生年月日 _____ 年 月 日（ _____ 歳）

申請者住所 _____

電話（自宅・携帯） _____

借用総額 _____ 円

〔事務局使用欄〕 担当者 ①
免 除 諾 。

否

※貸与番号 _____